

エコアクション21 2024年度 環境経営レポート



対象期間 (2024年2月～2025年1月)



山田車体工業株式会社

作成日 2025年 4月 21日

— 目次 —

1. 環境方針	2
2. 組織の概要	3
3. エコアクション21実施体制	4
4. 環境目標	5~7
5. 環境活動結果と評価及び次年度の取組み内	8~9
6. 環境活動実績表	10~14
7. 環境活動取組内容	15~16
8. 環境関連法規等の遵守状況	17
9. 環境関連法規等への違反訴訟の有無	17
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	18

1. 環境経営方針

経営理念

当社は「お客様の要望に応じて、確かな品質の使い易い製品を生産し、地域社会・物流社会に貢献することである」の企業理念のもと、地域社会の一員として自然環境保護、さらには地球環境保護に積極的に取り組むことにより社会に貢献できる企業を目指します。

(環境経営方針)

○経営重点方針

- (1) 「安全第一」の考えと行動の徹底
- (2) ボデー業界の需要変動への準備、心構え
- (3) 製造原価の的確な把握と改善
- (4) 「安定受注確保」のための「営業力」と「営業基盤」の強化
- (5) 「生産効率の向上」による「生産能力強化」と「コストダウン」
- (6) 不具合、ミス・ロス、トラブルの撲滅
- (7) 「当社ならではの得意科目」をつくり、高品質で、速く、安くつくる
- (8) 設計力、開発力、顧客ニーズ対応力の強化
- (9) 材料、部品の市況等を的確に把握した適時、適切な資材調達
- (10) 有能な人材の確保と育成

○環境基本方針

上記の経営重点方針を踏まえ、下記「環境基本方針」に沿った業務の推進を通じ、環境への貢献、環境負荷の低減を継続的に目指します。

1. 環境マネジメントシステムの構築を図り、その適切な運用により環境保護に結びつくよう、継続的な改善を目指します。
2. 当社が行う事業活動に於いて、環境に影響を及ぼす要因の中で、次のことを重点テーマとして取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 工場廃棄物排出量の削減
 - ③ 節水への取り組み
 - ④ 化学物質排出量の削減
 - ⑤ 環境に優しいトラックボデー造り
3. 環境に関する法律、規制及び組織が認める外部からの要求事項を厳守します。
4. 従業員への環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識向上を図ります。

制定年月日 2006年 11月1日
改訂年月日 2018年 2月1日

山田車体工業株式会社
代表取締役社長 山田 和典

2. 組織の概要

① 事業所名及び代表者

事業所名 代表者名
山田車体工業株式会社 代表取締役社長 山田 和典



木骨キャブ
2006年10月に
独立行政法人「国立科学博物館」
産業技術資料に登録

② 所在地

工場名 住所
本社沼津工場 静岡県沼津市松長字改正600
仙台工場 宮城県富谷市三ノ関68-3
水戸工場 茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-85
神奈川工場 神奈川県愛甲郡愛川町中津6789-1
仙台日の出町工場 宮城県仙台市宮城野区日の出町1-4-15
岩手工場 岩手県花巻市東和町北成島1区85番地1

③ 責任者及び担当者

本社沼津工場	環境管理統括責任者 製造推進部 部長 酒井 安広			
本社沼津工場	環境管理責任者 安全環境課課長	酒井 安広	環境管理担当者 安全環境課担当課長	仁田 英徳
仙台工場	工場長	根本 敏昭	管理部業務課	乙黒 敏浩
水戸工場	工場長	根本 敏昭	業務課主任	福田 淳一
神奈川工場	工場長	眞下 智樹	工場長	眞下 智樹
仙台日の出町工場	仙台工場長	根本 敏昭	管理部業務課	乙黒 敏浩
岩手工場	仙台工場長	根本 敏昭	管理部業務課	乙黒 敏浩

④ 連絡先

本社沼津工場 安全環境課 仁田 英徳
TEL: 055-966-0815 FAX: 055-966-7474 E-mail: shisetsu@yamada-body.co.jp

⑤ 事業の内容

輸送用機械器具製造業 自動車車体製造(トラック部門)

⑥ 事業年度

2月～翌年1月



平ボデー



FLAP (ウイング)



その他

⑦ 事業規模

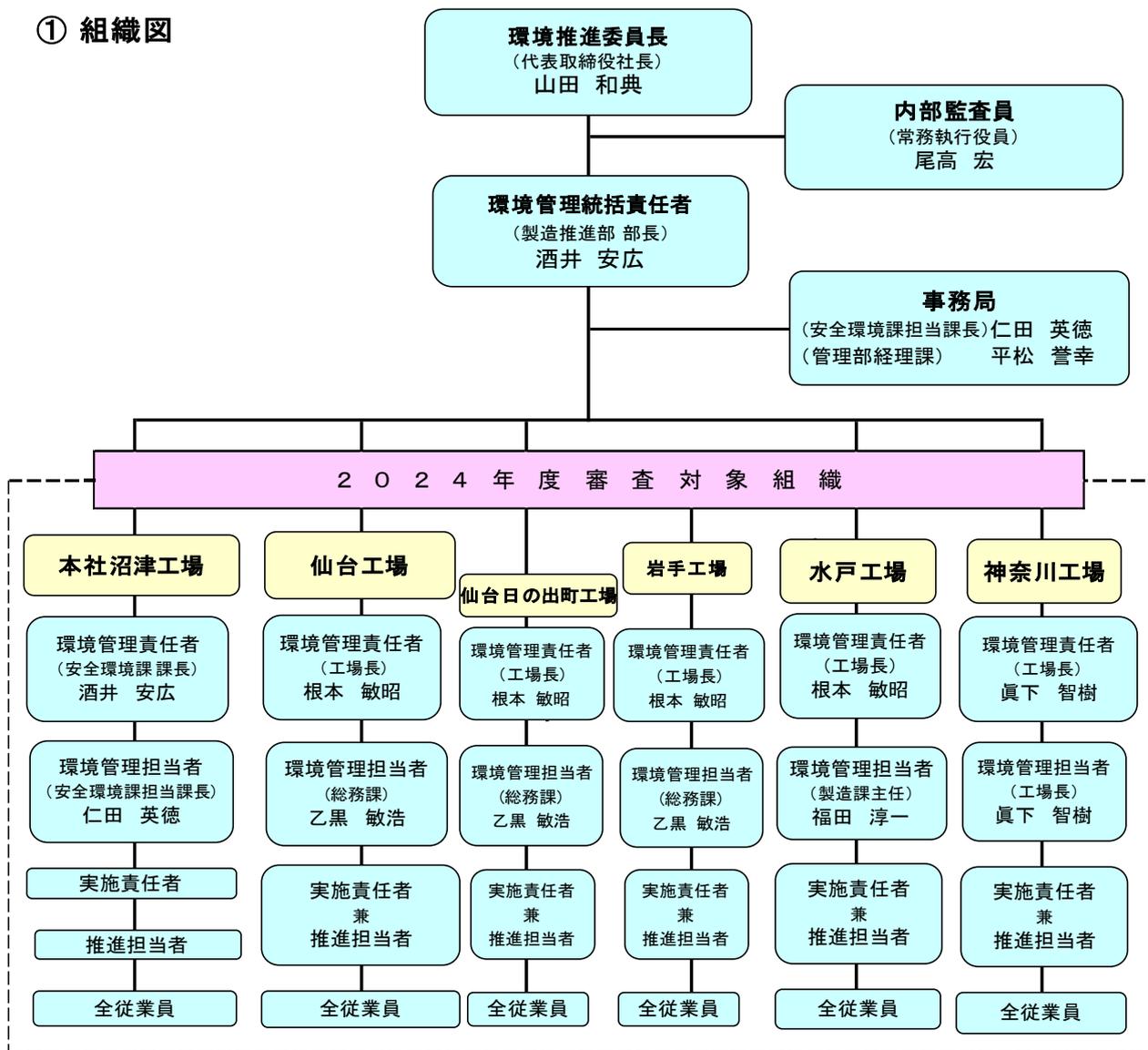
工場名	事業規模	単位	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
本社沼津工場	新車の生産台数	台	287	309	296	283	204	225	261
	社員数	人	98	102	109	104	101	108	111
	延べ床面積	m ²	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
仙台工場	新車の生産台数	台	371	348	348	312	241	262	252
	社員数	人	97	95	95	95	98	99	103
	延べ床面積	m ²	6,223	6,223	6,223	6,223	6,223	6,223	6,223
水戸工場	新車の生産台数	台	155	179	191	183	158	165	166
	社員数	人	37	40	42	42	44	44	43
	延べ床面積	m ²	3,373	3,373	3,373	3,373	3,373	3,373	3,373
神奈川工場 ※	新車の生産台数	台	0	0	0	1	0	0	0
	社員数	人	5	7	6	10	6	5	5
	延べ床面積	m ²	839	839	839	839	839	839	839
仙台日の出町工場 ※	新車の生産台数	台	5	7	6	0	1	1	2024年10月末 仙台工場吸収
	社員数	人	5	3	4	4	5	3	
	延べ床面積	m ²	972	972	972	972	972	972	
岩手工場	新車の生産台数	台						9	9
	社員数	人						6	5
	延べ床面積	m ²						469	469

※ 主に 修理・二次架装

【数値は各年度の1月21日時点のもの】

3. エコアクション21実施体制

① 組織図



② 役割分担

組織名称	役割・責任
環境推進委員長 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の作成 経営における課題とチャンスの明確化 経営資源の準備 環境管理責任者の任命 全体の評価と見直し
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査の実施 関連書類の確認
環境管理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 全体の構築、運用 事務局の取りまとめ、監督、指導、管理 代表者への報告
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動実施報告の管理 活動情報の掲示 環境経営レポートの作成 実施責任者、推進担当者への情報伝達 関連書類及び記録の作成 各数値、データの記録 事務局会議の運営
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 事務局会議の開催 取組状況の確認及び問題の是正 環境関連法規制等の取りまとめ 環境目標、活動計画の確認
環境管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> 関連文書の記録、管理及び報告 事務局への関連書類、活動報告
実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の統括 環境活動計画の実施監督 環境活動計画の進捗管理 推進担当者への助言
推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の実施 環境活動実施状況の報告 活動に対する意見 環境活動計画の構築
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動の参加

4. 環境経営目標

① 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標(年次目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし3%の削減目標とする。

環境経営目標(中期目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年1% 2025年度で4%削減目標とする。

工場名	項目	年次目標	年次実績			中期目標(単位: kg・CO2/百万円)	
		2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		2021年度比 (-3%)	基準年度	基準年度比 (-1%)	基準年度比 (-2%)	基準年度比 (-3%)	基準年度比 (-4%)
本社沼津工場	電気※1	197.72	203.83	217.12	195.78	197.72	195.68
	灯油※2	(3.49)	(2.99)	(3.17)	(3.53)	(3.49)	(2.87)
	都市ガス	9.96	10.27	8.78	4.76	9.96	9.86
	ガソリン	15.42	11.61	12.53	15.58	15.42	15.27
	軽油※3	(28.53)	(29.41)	(32.14)	(29.62)	(28.53)	(28.23)
	二酸化炭素	250.35	258.09	273.74	249.27	250.35	251.91
仙台工場	電気※1	154.55	159.33	127.42	123.65	154.55	152.96
	灯油※2	(4.41)	(0.61)	(1.03)	(4.46)	(4.41)	(0.59)
	LPG	41.22	42.49	41.64	33.38	41.22	40.79
	重油	11.04	11.38	9.91	10.12	11.04	10.92
	ガソリン	10.50	7.77	9.49	10.61	10.50	10.40
	軽油※3	(14.66)	(15.11)	(13.1)	(12.32)	(14.66)	(14.51)
二酸化炭素	229.60	236.70	202.59	194.54	229.60	230.16	
水戸工場	電気※1	146.21	150.73	153.61	148.59	146.21	144.70
	灯油※2	(26.64)	(12.72)	(26.58)	(26.91)	(26.64)	(12.21)
	LPG	129.03	133.02	116.25	96.05	129.03	127.70
	ガソリン	29.82	16.71	33.02	30.12	29.82	29.52
	軽油※3	(37.93)	(39.10)	(29.330)	(33.18)	(37.93)	(37.54)
	二酸化炭素	335.75	346.13	358.79	334.85	335.75	351.67
神奈川工場	電気※1	227.79	234.84	230.29	280.18	227.79	225.45
	灯油※2	(3.82)	(3.94)	(2.4)	(3.95)	3.82	3.78
	LPG	0.61	0.63	0.77	1.38	0.61	0.60
	ガソリン	167.24	188.53	187.51	168.93	167.24	165.55
	軽油※3	(35.14)	(36.23)	(14.94)	(14.65)	(35.14)	(34.78)
	二酸化炭素	404.99	417.52	435.91	469.09	404.99	430.17
仙台日の出町工場	電気※1	163.06	168.10	211.87	246.36	163.06	161.38
	灯油※2	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
	LPG	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ガソリン	1.10	0.00	0.00	1.11	1.10	1.10
	軽油※3	4.72	(0.00)	(0.00)	(4.77)	(4.72)	(0.00)
	二酸化炭素	273.95	282.42	211.87	252.24	273.95	162.48
岩手工場	電気※1	207.11			209.20	207.11	205.02
	灯油※2	(177.67)			(179.46)	(177.67)	(175.87)
	LPG	0.55			0.56	0.55	0.55
	ガソリン	62.64			63.27	62.64	62.00
	軽油※3	3.72			(3.76)	(3.72)	(3.68)
	二酸化炭素	451.69			456.25	451.69	447.12

※1.電気の二酸化炭素排出量は各工場以下の電力事業者の調整排出係数より算出している。

- 本社沼津工場 (日本テクノ(株) 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.465
- 仙台工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.541
- (日本テクノ(株) 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.465
- 水戸工場 (日本テクノ(株) 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.465
- (東京電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.438
- 神奈川工場 (日本テクノ 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.485
- 仙台日の出町工場 (東北電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.483
- 岩手工場 (東北電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.483

※2.灯油は使用量が少ないので目標値を設定しない。(二酸化炭素排出量には含む)

※3.軽油は商品車納品距離に影響されるので目標は設定しない。(二酸化炭素排出量には含む)

② 廃棄物排出量の削減

環境経営目標(年次目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし2%の削減目標とする。

環境経営目標(中期目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし、2023年度実績を考慮し2024年度目標は2021年度比2%削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績			中期目標(単位:kg・CO2/百万円)	
	2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	2021年度比 (-2%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)
本社沼津工場	35.85	36.58	44.96	36.62	35.85	35.48
仙台工場	39.04	23.75	22.30	39.43	23.28	23.04
水戸工場	53.78	54.88	65.00	53.08	53.78	53.23
神奈川工場	44.98	45.90	30.50	0.90	44.98	44.52
仙台日の出町工場	41.13	41.97	37.20	47.42	41.13	40.71
岩手工場	8.01			8.09	8.01	0.00

③ 節水への取り組み

環境経営目標(年次目標)

2020年度実績(売上高比)を基準とし1%の削減目標とする。

環境経営目標(中期目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年1% 2024年度で3%削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績			中期目標(単位:kg・CO2/百万円)	
	2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	2021年度 (-1%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)	基準年度 (-4%)
本社沼津工場	9.93	20.70	18.52	17.92	20.08	20.08
仙台工場	0.43	0.44	0.49	0.45	0.43	0.43
水戸工場	0.45	0.46	0.42	0.40	0.45	0.45
神奈川工場	0.73	0.75	0.85	0.88	0.73	0.73
仙台日の出町工場	0.66	0.68	0.94	1.11	0.66	0.66
岩手工場	0.46			0.46	0.46	0.00

④ 化学物質排出量の削減

環境経営目標(年次目標)

2020年度実績(売上高比)を基準とし1%の削減目標とする。

環境経営目標(中期目標)

2021年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年1% 2024年度で3%削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績			中期目標(単位:kg・CO2/百万円)	
	2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	2021年度 (-3%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)	基準年度 (-4%)
本社沼津工場	4.68	4.82	5.19	5.37	4.68	4.63
仙台工場	6.19	6.38	5.50	6.98	6.19	6.12
水戸工場	5.00	5.15	4.96	4.46	5.00	4.94
神奈川工場	0.88	0.91	1.08	1.45	0.88	0.87
仙台日の出町工場	1.24	1.28	3.04	3.93	1.24	1.23
岩手工場	2.23			2.25	2.23	2.21

⑤環境に優しいトラックボデー造り

(1)環境負荷物質の削減

環境経営目標(年次目標)

環境負荷物質の削減に向け部品・部材管理システムの活用をする。

環境経営目標(中期目標)

管理システムを運用し、明確化、簡素化を図る。

車体工業会の環境負荷物質フリー宣言時に於ける対象外の不適合や未確認品 0件 の維持

全工場	年次目標	年次実績			中期目標(単位:件)
	2024年度目標	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度
	(0件)維持	基準年度	2021年度(50%)減	2022年度(50%)減	(0件)維持
	0	337	136	0	0

(2)軽量化の実施

	項目	工場名	年次目標	年次実績			中期目標
			2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度
1	耐摩耗鋼・高張力構造用鋼の使用による軽量化	本社 沼津工場	継続実施	一部実用化	9台架装	7台架装	継続実施
		仙台工場			40台架装	21台架装	
		水戸工場			20台架装	37台架装	
2	サンドイッチパネル採用による軽量化	仙台工場	継続実施	50台架装	60台架装	33台架装	継続実施
		本社 沼津工場	継続実施	6台架装	5台架装	12台架装	継続実施

【本社沼津工場・仙台工場・水戸工場】
耐摩耗鋼の採用 高強度構造用鋼の採用



【仙台工場・本社沼津工場】
軽量素材を使用したフラップボデー



(3)塗料の改善検討

	項目	工場名	年次目標	年次実績			中期目標
			2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度
1	※特化則対象物質 非含有塗料の採用	本社 沼津工場	継続実施	13台実施	11台実施	10台実施	継続実施
2	水性防錆塗料の採用	本社沼津工場	継続実施	採用テスト	9台実施	22台実施	継続実施
		水戸工場	継続実施	採用テスト	18台実施	26台実施	

※PRTR法対応・特定化学物質障害予防規則の対象物質非含有環境型塗料

5. 環境経営計画と評価及び次年度の取組み内容

(取組期間: 2024年2月~2025年1月)

環境経営項目		評価						コメント	今後の取組内容
		沼津	仙台	水戸	神奈	日出	岩手		
電気	目標値に対する評価	○	○	○	○	×	×	【達成率】 沼津 111 %	継続して取組む。 【日の出町工場】 仙台工場に移管。 【岩手工場】 売上高の計画達成を目指す。
	節電シールの貼付け	○	○	○	○	○	○	仙台 106 %	
	不必要な照明はこまめに消す	○	○	○	○	○	○	水戸 105 %	
	未使用設備の電源OFF (製造設備・OA機器・他)	○	○	○	○	○	○	神奈川 108 %	
	エアコンフィルターの定期清掃 (夏冬年2回)	○	○	○	○	○	○	仙台日の出町 18 %	
	高効率照明の採用(LED照明等)	○	○	○	○	○	○	岩手 89 %	
	設備更新時のインバーター化推進	—	—	—	—	—	—	【日出町工場】 11月工場閉鎖が予定されていたことから、工場の稼働と売上高は従来水準より低下し、電気使用量は基準年度より半減したが原単位当たりでは、18%となった。	
	コンプレッサーのエア漏れチェックと整備	○	○	○	○	—	—	【岩手工場】 電気の使用量は前年比で横這いだが、下期売上高の減少で原単位当たり排出量は未達となった。	
都市ガス・LPG	目標値に対する評価	○	○	○	○	×	×	【達成率】 沼津 143 %	継続して取組む。 【神奈川工場】 LPガスのCO2排出比率は全体排出量の0.3%で僅かなため、対応無し。 【岩手工場】 老朽化している給湯器を新型に入れ替えることで削減を図る。
	使用状況の調査・問題点の抽出	○	○	—	—	—	—	仙台 112 %	
	ガス漏れ点検	○	○	○	○	—	—	水戸 128 %	
	乾燥設備の点検	○	○	○	—	—	—	神奈川 59 %	
	自然乾燥の増加	○	○	—	—	—	—	岩手 79 %	
	乾燥設備の換気フィルター清掃	○	○	○	—	—	—	【神奈川工場】 手狭な工場の効率向上のため、材料移動等でLPガスを使うフォークリフトの稼働が増えたため。	
	フォークリフトの省エネ運転励行	○	○	○	○	—	—	【岩手工場】 LPガスによる給湯器の使用が、冬季に営業車両の塩害部清掃等で増加したため。	
ガソリン	目標値に対する評価	×	×	×	×	—	—	【達成率】 沼津 82 %	継続して取組む。 【本社沼津工場】 ・削減活動の基本的手段であるエコドライブ、タイヤ空気圧CH、不要な積載物回避等に努める。 ・新規顧客獲得により売上高増加に繋げ、より一層工場の稼働を高め、効率化に繋げる。
	効率的なルートによる営業活動	○	○	○	○	—	—	仙台 102 %	
	不必要なアイドリングはしない	○	○	○	○	—	—	水戸 146 %	
	不要な荷物を積まない	○	○	○	○	—	—	神奈川 160 %	
	急発進・急加速の禁止	○	○	○	○	—	—	岩手 93 %	
	タイヤの空気圧チェックの実施	○	○	○	○	—	—	【本社沼津工場】 受注確保・売上高増のため、販路拡大を行い遠方への営業活動が増加したため社用車の燃料使用量が増加した。	
軽油	目標値に対する評価	—	—	—	—	—	—	【達成率】 沼津 106 %	継続して実施する。
	納車時の早期出発	○	○	○	—	—	—	仙台 110 %	
	給油量の見直し(年1回)	○	○	○	○	—	—	水戸 141 %	
	納車時の省エネ運転励行	○	○	○	○	—	—	神奈川 164 %	
	フォークリフトの省エネ運転励行	○	○	○	—	—	—	岩手 79 %	
								軽油は商品車納品距離に影響されるので目標設定・評価はしない。	

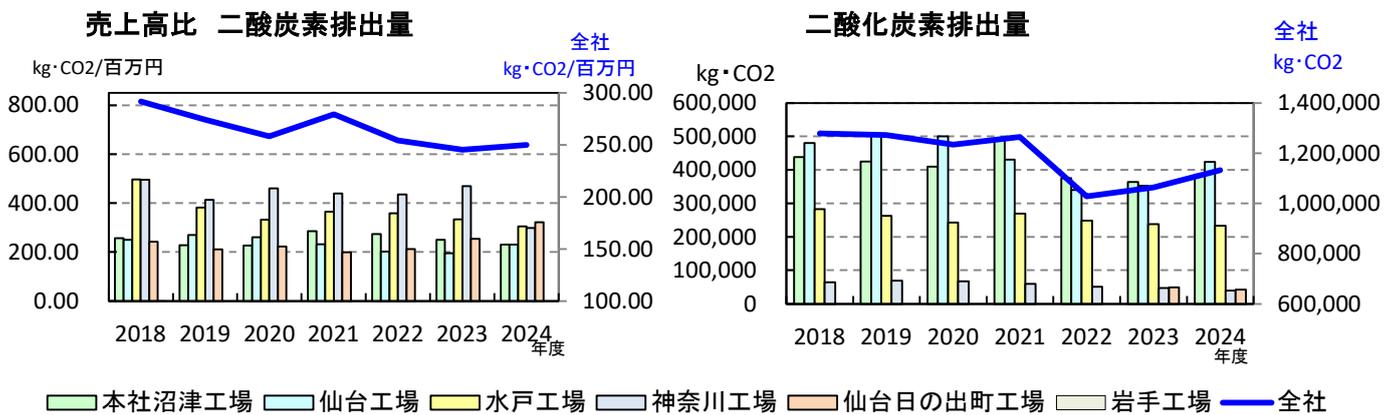
- ① 取組期間の評価は2024年2月~2025年1月までの実績評価である。
 ② 評価判定は○・△・×の3段階で行なった。
 ○ 目標値を達成 又は 活動が概ね計画通り実施できた。
 △ 目標値の95%~100%未満 又は 活動が一部計画通り実施できなかった。
 × 目標値の95%未満 又は 活動が実施できなかった。
 ③ 活動計画の見直しは、2024年度四半期毎の状況に応じ都度行なう。

環境経営項目	評価						コメント	今後の取組内容
	沼津	仙台	水戸	神奈	日出	岩手		
廃棄物の削減	目標値に対する評価	○	○	×	○	×	×	【達成率】 沼津 111 % 仙台 101 % 水戸 84 % 神奈川 199 % 日の出町 -137 % 岩手工場 -363 % 【水戸工場】 1Qに新社屋建設に伴う旧事務所の廃棄物が大量に発生したため。 【仙台日の出町工場】 11月工場閉鎖に伴い廃棄物が増加したため。 【水戸工場】 【仙台日の出町工場】 一時的な増加であり、今後は定期的な排出に努める。 【岩手工場】 修理車両の交換済み床板廃棄による。廃棄物処分費用を明確にする。
	分別の徹底							
	廃シナーの再生利用							
	パレットの返却による再利用							
	梱包材の再利用							
	ムダの出ない資材発注 (カット購入・定尺寸法見直し)							
	材料のムダ削減 (ミスロスの削減・端材利用)							
水使用量の削減	目標値に対する評価	—	—	—	—	—	—	【達成率】 沼津 45 % 仙台 93 % 水戸 98 % 神奈川 49 % 日の出町 139 % 岩手工場 89 % 【本社沼津工場】 ・自噴水給水ポンプ老朽化でオーバーフロー発生の疑い ・消火栓配管老朽化による漏水の疑い 【本社沼津工場】 ・ポンプ更新工事の実施。 ・消火栓配管の漏水箇所検知と交換工事の実施。
	節水シールと使用状況のチェック	○	○	○	○	○	○	
	水漏れ点検の実施	○	○	○	○	○	○	
	自噴水の利用	○	—	—	—	—	—	
	※エコアクション21の管理目標から除く。 自主管理事項とする。							
化学物質	目標値に対する評価	○	×	○	×	○	○	【達成率】 沼津 116 % 仙台 94 % 水戸 138 % 神奈川 94 % 岩手 104 % 【全工場】 ・全社的にボデー塗装の顧客ニーズは今後とも高まる傾向。使用量削減より特価則対象物質等の有害性の少ない材料への転換について、全工場で協力して取組む。 【仙台工場】 ・塗料の使用量と売上高は基準年度とほぼ同水準であったが、僅かに目標値を達成できなかった。
	SDSの入手・適正管理	○	○	○	○	○	—	
	有害性の少ない材料への転換	○	○	○	○	○	—	
	エコシナー使用率の向上	○	—	—	—	—	—	
環境にやさしいトラックボデー造り	目標値に対する評価	○	○	○	—	—	—	【採用台数実績・台】 沼津工場: 2台 仙台工場: 15台 水戸工場: 17台 仙台工場: 16台 沼津工場: 5台 沼津工場: 30台 水戸工場: 26台 沼津工場: 20台 継続して実施する。 継続して実施する。 全社的に採用を増やす取り組みを行う。 全社的に採用を増やす取り組みを行う。
	ボデーの軽量化 (耐摩耗鋼、高強度構造用鋼採用)							
	内製サンドイッチパネルによる冷凍車							
	サンドイッチパネル採用による軽量化							
	有機溶剤を含まない防錆塗料(水性塗料)の採用							
	特化則対象物質非含有塗料の採用							

6. 環境経営実績表

① 二酸化炭素排出量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	257.64	228.69	226.96	285.27	273.75	249.26	231.21
	仙台工場		249.47	269.26	261.29	231.69	202.59	194.50	230.81
	水戸工場		495.86	382.01	332.72	365.24	358.80	334.28	305.34
	神奈川工場		495.44	412.94	459.89	438.87	435.91	469.08	297.76
	仙台日の出町工場		242.09	210.94	222.26	198.87	211.87	254.00	321.66
	岩手工場							456.25	412.59
	全社		291.86	274.19	258.08	279.62	254.28	245.38	250.05
排出量	本社沼津工場	kg・CO2	438,354	424,980	409,080	490,454	375,596	364,471	385,471
	仙台工場		479,832	502,509	500,573	431,510	340,679	352,650	424,402
	水戸工場		282,799	262,973	243,027	269,456	249,260	238,152	233,565
	神奈川工場		63,999	69,453	67,958	59,914	51,085	48,016	40,093
	仙台日の出町工場		13,765	13,055	13,227	13,220	11,446	10,969	6,502
	岩手工場							50,100	42,156
	全社合計		1,278,749	1,272,970	1,233,865	1,264,554	1,028,066	1,064,358	1,132,187



(1) 電気使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	203.29	184.74	177.72	231.01	217.12	195.78	175.02
	仙台工場		168.04	163.53	165.72	154.32	127.42	123.65	145.13
	水戸工場		227.34	157.24	124.14	163.69	153.61	148.59	138.74
	神奈川工場		334.23	199.20	228.13	255.18	230.29	280.18	215.61
	仙台日の出町工場		242.09	210.96	218.79	194.21	211.87	246.36	321.66
	岩手工場							209.20	227.70
	全社		291.86	274.19	258.08	279.62	254.28	245.38	250.05
使用量	本社沼津工場	kwh	691,751	705,821	733,334	753,627	646,503	590,248	627,515
	仙台工場		571,606	527,079	548,346	548,515	508,986	532,505	564,849
	水戸工場		224,460	220,862	207,237	229,553	226,330	218,377	229,506
	神奈川工場		86,350	79,297	77,276	66,104	58,481	59,133	59,860
	仙台日の出町工場		25,257	23,955	23,891	24,452	25,047	23,307	14,227
	岩手工場							47,073	47,674
	全社合計		1,278,749	1,272,970	1,233,865	1,264,554	1,028,066	1,064,358	1,132,187

本社沼津工場 (日本テクノ 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.465
 仙台工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.541
 水戸工場 (東京電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.438
 神奈川工場 (日本テクノ 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.465
 仙台日の出町工場 (東北電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.483
 岩手工場 (東北電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.483

(2) 化石燃料使用量

灯油使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	3.37	3.21	3.11	2.99	3.17	3.53	3.98
	仙台工場		1.14	0.71	0.76	0.61	1.03	4.46	12.06
	水戸工場		8.56	4.38	5.98	12.72	26.58	26.91	30.09
	神奈川工場		2.08	2.33	2.08	3.94	2.40	3.95	0.55
	岩手工場							179.46	112.69
使用量	本社沼津工場	ℓ	2,304	2,396	2,257	2,066	1,746	2,070	2,666
	仙台工場		881	535	586	460	696	3,244	8,909
	水戸工場		1,959	1,210	1,755	3,770	7,417	7,698	9,243
	神奈川工場		108	157	124	216	113	162	30
	岩手工場							7,914	4624

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 2.49

都市ガス使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2/百万円	8.12	4.46	4.88	10.27	8.78	4.76	5.65
使用量		m ³	6,555	3,933	4,083	8,175	5,580	3,220	4,361

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 2.16

LPG使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	仙台工場	kg・CO2 /百万円	39.64	56.89	58.82	42.49	41.64	33.38	36.26
	水戸工場		176.77	154.84	140.34	133.02	116.25	96.05	93.38
	神奈川工場		1.84	1.37	1.24	0.58	0.77	1.38	0.86
	岩手工場							0.56	0.68
使用量	仙台工場	kg	25,397	35,366	37,535	26,378	23,340	20,161	22,211
	水戸工場		33,584	35,509	34,145	32,712	26,920	22,809	23,810
	神奈川工場		79	77	61	27	30	67	48
	岩手工場							21	23

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 3.00

重油使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	仙台工場	kg・CO2/百万円	13.26	12.11	11.21	11.38	9.91	10.12	13.88
使用量		ℓ	9,410	8,340	7,719	7,820	6,150	6,769	9,420

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 2.71

ガソリン使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	9.14	7.47	9.93	11.61	12.53	15.58	15.59
	仙台工場		10.46	8.86	9.26	7.77	9.48	10.61	10.26
	水戸工場		24.87	23.14	21.26	16.71	33.02	30.12	21.29
	神奈川工場		102.08	146.65	190.44	162.12	187.51	168.93	66.88
	岩手工場							63.27	67.03
使用量	本社沼津工場	ℓ	6,697	5,981	7,712	8,606	7,413	9,818	14,079
	仙台工場		8,666	7,125	7,642	6,240	6,873	8,289	8,132
	水戸工場		6,109	6,862	6,689	5,313	9,886	9,250	7,019
	神奈川工場		5,680	10,603	12,142	9,540	9,472	7,453	3,882
	岩手工場							2,995	2,952

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 2.32

軽油使用量

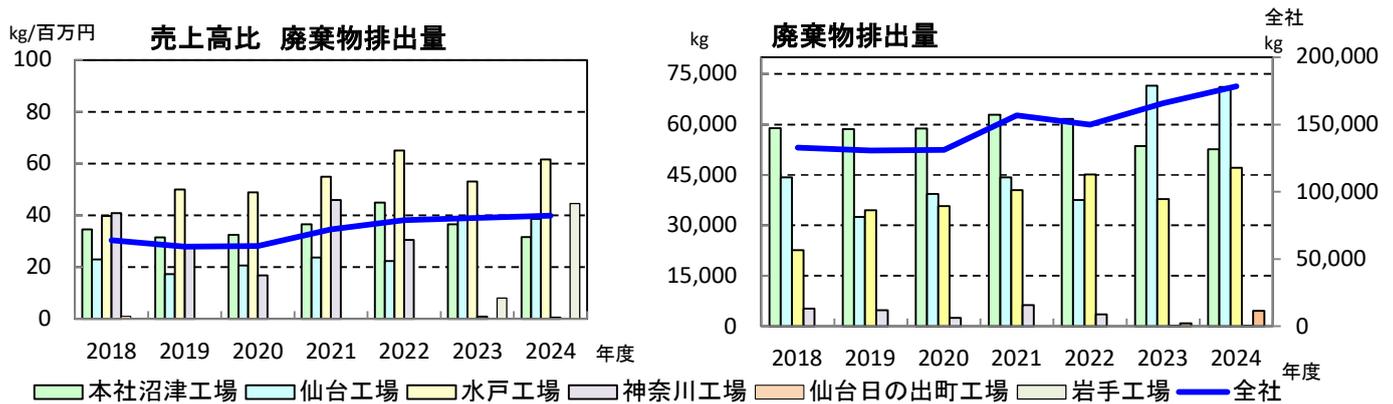
項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	33.72	28.81	30.82	29.39	32.14	29.62	29.96
	仙台工場		16.93	27.16	15.81	15.11	13.10	12.32	13.24
	水戸工場		58.31	42.4	41.00	39.10	29.33	33.18	22.21
	神奈川工場		55.2	32.44	36.60	17.05	14.94	14.65	13.84
	仙台日の出町工場		—	—	3.47	4.66	0.00	4.77	0.00
	岩手工場							3.76	4.41
使用量	本社沼津工場	ℓ	21,860	20,399	21,520	19,583	17,093	16,788	17,058
	仙台工場		12,409	19,315	11,540	10,907	8,539	8,656	9,434
	水戸工場		12,673	11,123	11,412	11,181	7,898	9,007	6,475
	神奈川工場		2,717	2,091	2,098	902	679	581	722
	仙台日の出町工場		—	—	80	120	0	80	0
	岩手工場							160	178

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 2.58

② 廃棄物排出量

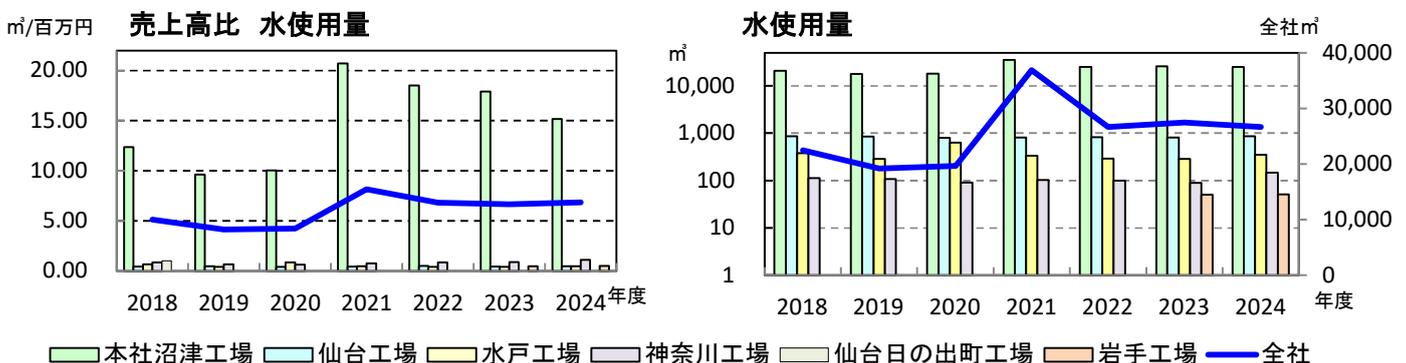
項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg/百万円	34.62	31.56	32.6	36.58	44.96	36.62	31.58
	仙台工場		23	17.39	20.55	23.75	22.30	39.43	38.66
	水戸工場		39.69	50.06	48.92	54.88	65.00	53.08	61.59
	神奈川工場		40.9	27.93	16.8	45.90	30.50	0.90	0.50
	仙台日の出町工場		※0	※0	※0	41.97	37.20	47.42	137.04
	岩手工場							8.09	44.61
	全社		30.29	27.94	28.11	34.64	38.12	39.09	39.91
排出量	本社沼津工場	kg	58,896	58,656	58,790	62,888	61,688	53,544	52,643
	仙台工場		44,235	32,460	39,360	44,240	37,500	71,485	71,080
	水戸工場		22,634	34,464	35,734	40,484	45,156	37,812	47,110
	神奈川工場		5,285	4,725	2,490	6,270	3,580	90	67
	仙台日の出町工場		※0	※0	※0	2,790	2,010	2,050	2,770
	岩手工場							888	4,558
	全社合計		132,710	130,565	130,910	156,672	149,934	165,869	178,228

※2018、2020年度は仙台工場へ取りまとめて排出をした為、実績なし。



③ 水使用量

項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	m ³ /百万円	12.36	9.63	10.03	20.70	18.52	17.92	15.15
	仙台工場		0.45	0.46	0.42	0.44	0.49	0.45	0.47
	水戸工場		0.66	0.42	0.87	0.46	0.42	0.40	0.46
	神奈川工場		0.87	0.64	0.61	0.75	0.85	0.88	1.10
	仙台日の出町工場		1.08	1.07	1.07	0.68	0.94	1.11	217.98
	岩手工場							0.46	0.50
	全社		5.12	4.14	4.23	8.16	6.81	6.64	6.87
使用量	本社沼津工場	m ³	21,025	17,900	18,088	35,592	25,404	26,210	25,266
	仙台工場		870	861	811	813	831	813	872
	水戸工場		379	286	632	337	291	285	353
	神奈川工場		113	108	91	103	100	90	148
	仙台日の出町工場		67	66	64	45	51	48	
	岩手工場							50	51
	全社合計		22,454	19,221	19,686	36,890	26,677	27,496	26,690

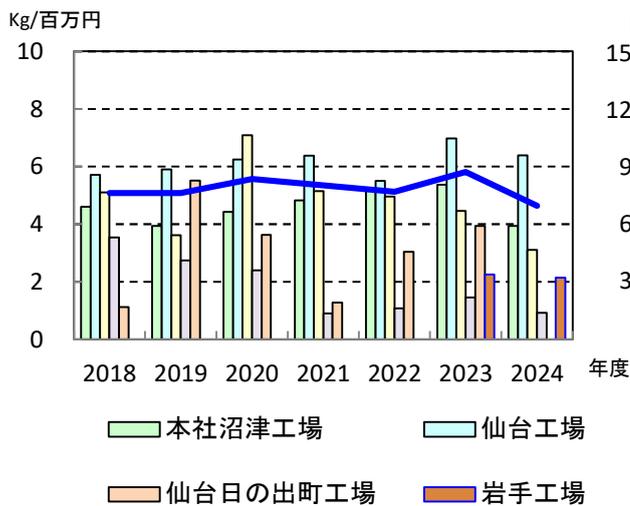


④ 化学物質排出量

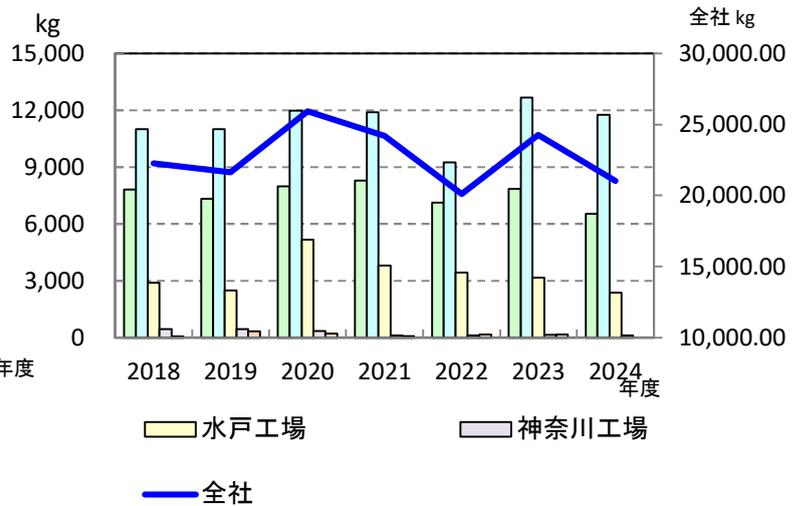
項目	工場名	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高比	本社沼津工場	kg/百万円	4.60	3.94	4.43	4.82	5.19	5.37	3.93
	仙台工場		5.71	5.90	6.25	6.38	5.50	6.98	6.39
	水戸工場		5.11	3.62	7.09	5.15	4.96	4.46	3.11
	神奈川工場		3.54	2.74	2.40	0.91	1.08	1.45	0.93
	仙台日の出町工場		1.12	5.51	3.63	1.28	3.04	3.93	0.00
	岩手工場							2.25	2.15
	全社		5.08	5.08	5.57	5.35	5.13	5.81	4.64
排出量	本社沼津工場	kg	7,830	7,323	7,987	8,291	7,120	7,857	6,548
	仙台工場		10,988	11,011	11,974	11,886	9,246	12,653	11,755
	水戸工場		2,913	2,492	5,180	3,801	3,444	3,179	2,380
	神奈川工場		457	463	355	124	127	148	125
	仙台日の出町工場		64	341	216	85	164	170	0
	岩手工場							247.45	219.56
	全社合計		22,252	21,630	25,919	24,187	20,101	24,255	21,028

※ 化学物質排出量は購入量から算出しています。

売上高比 化学物質排出量



化学物質排出量



⑤環境に優しいトラックボデー造り

(1)環境負荷物質の削減

環境経営目標(年次目標)

環境負荷物質の削減に向け部品・部材管理システムの活用をする。

環境経営目標(中期目標)

管理システムを運用し、明確化、簡素化を図る。

車体工業会の環境負荷物質フリー宣言時に於ける対象外の不適合や未確認品 0件 の維持

全工場	年次目標	年次実績			
	2024年度目標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	(0件)維持	基準年度	2021年度(50%)減	2022年度(50%)減	(0件)維持
	0	337	136	0	0

(2)軽量化の実施

	項目	工場名	年次目標	年次実績						
			2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
1	耐摩耗鋼・高張力構造用鋼の使用による軽量化	本社 沼津工場	継続実施	一部実用化	9台架装	7台架装	2台架装			
		仙台工場						40台架装	21台架装	15台架装
		水戸工場						20台架装	37台架装	55台架装
2	サンドイッチパネル採用による軽量化	仙台工場	継続実施	50台架装	60台架装	33台架装	16台架装			
		本社 沼津工場	継続実施	6台架装	5台架装	12台架装	5台架装			

【本社沼津工場・仙台工場・水戸工場】
耐摩耗鋼の採用 高強度構造用鋼の採用

【仙台工場・本社沼津工場】
軽量素材を使用したフラップボデー



(3)塗料の改善検討

	項目	工場名	年次目標	年次実績			
			2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	※特化則対象物質 非含有塗料の採用	本社 沼津工場	継続実施	13台実施	11台実施	10台実施	20台実施
2	水性防錆塗料の採用	本社沼津工場	継続実施	採用テスト	9台実施	22台実施	30台実施
		水戸工場	継続実施	採用テスト	18台実施	26台実施	26台実施

※PRTR法対応・特定化学物質障害予防規則の対象物質非含有環境型塗料

7. 環境活動取組内容



【仙台工場】社会貢献 団体献血
12月13日出張献血バスにて
献血の協力をしました。



【本社沼津工場】地域周辺の清掃活動

11月14日に会社周辺を部署ごとにエリアを
分けて清掃活動をしました。



【本社沼津工場】9月6日防火訓練



【本社沼津工場】
カートリッジをまとめてリサイクル工場へ



【仙台工場】
【仙台日の出町工場】
12月8日
合同防火訓練



【水戸工場】社会貢献 工場見学

11月16日に地元の小学生の工場見学に協力しました。



【水戸工場】社会貢献 地域清掃

6月12日に地域清掃を行いました。



【本社沼津工場】社会貢献

使用済み切手回収運動への参加

日本キリスト協海外医療協力会に送っています。

使用済み切手5,000枚でタンザニアの看護学校の約1年分の教科書代になります。

【本社沼津工場】社会貢献

エコキャップ運動への参加

エコキャップ推進協会へ送っています。

キャップの素材であるポリプロピレンのリサイクル促進。キャップをゴミとして焼却しないことでCO2の削減。売却益で発展途上国の医療支援。回収したキャップの異物除去作業への雇用創出。と、社会貢献に役立っています。



8. 環境関連法規等の遵守状況

主な摘要法規	適用内容	遵守評価					
		本社 沼津工場	仙台工場	水戸工場	神奈川工場	仙台日の出 町工場	岩手工場
大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	—	—	—	—
水質汚濁防止法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—	—
騒音規制法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—	—
振動規制法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—	—
神奈川県条例※	指定事業所の届出(設置・変更・廃止時)	—	—	—	○	—	—
公害防止法	公害防止管理者の選任 (騒音・振動による特定工場がある場合)	—	—	—	—	—	—
PRTR法	特定化学物質の報告書提出 (特定化学物質の年間取扱量が1t以上の場合)	○	○	○	—	—	—
廃棄物処理法	マニフェストの交付・保存	○	○	○	○	○	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄時の適正な処理	○	—	—	—	—	—
フロン排出抑制法	フロン使用機器廃棄時の適正な処理	○	○	○	○	○	○
消防法	危険物施設の届出(設置・変更・廃止時) 防火管理者の選任	○	○	○	○	—	—
労働安全衛生法	作業環境測定 定期・特殊健康診断の実施	○	○	○	○	○	○
その他要求事項	車輛法保安基準の遵守	○	○	○	○	○	○
	車工会における環境負荷物質自主取組み基準	○	○	○	○	○	○

※神奈川県生活環境の保全に関する条例

9. 環境関連法規等への違反訴訟の有無

環境関連法規への遵守状況確認の結果、違反はありませんでした。

また、関係機関からの違反指摘や利害関係者からの訴訟等は各工場共、過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

1) 環境への取組みが適切に実施されているか

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、また化学物質排出量の削減等については、適切に取組みが行われています。

また、「環境に優しいトラックボデー造り」については、営業、技術、資材、製造等の全ての業務の中で、環境負荷物質を含有しない部品の使用や、軽量化、省エネ化を常に意識したボデー造りを行っています。

2) 環境経営システムが有効に機能しているか

システムについても問題なく機能しています。

(2) 指示内容

1) 環境経営方針

特に変更はありません。

2) 環境経営目標及び環境経営計画

特に変更はありません。

3) 実施体制

仙台工場の組織下にあった仙台日の出町工場について、経営的判断から2024年11月をもって拠点を廃止し、仙台工場に移管・集約することとしました。それ以外の変更は、特にありません。

弊社全体のCO2排出量については、基準年度である2021年度の1,264,554kg-CO2から10.5%減の、1,32,187kg-CO2となり、売上高百万円当たりCO2排出量では、基準年度比で10.6%減の、250.05kg-CO2/百万円となりました。当年度の目標は、基準年度比で3%減としていましたが、大きく減少した主な要因は、弊社主要工場である本社沼津工場、仙台工場、水戸工場の売上高が2021年度とほぼ同水準の売上高に回復したこと、およびボデー単価の高額化、仕様の複雑化等で生産台数が減少したことにあります。その結果原単位当たりCO2排出量も削減することとなり、目標達成に至りました。

しかしながら、経営的な観点からは以下のような問題点や課題を抱えており、工場別にはその構成や程度の違いはあるものの、これらが全体的に業績を大きく引き下げています。

- ①受注面では、同業他社が受注を避けるような複雑な仕様の受注を獲得し、売上高を確保した結果、設計から生産まで従来より手が掛かり、生産台数を伸ばすことが困難となりました。
- ②加えて、コロナ禍以降ここ数年、原材料費・経費等の高騰が続く中、売価に反映すべく顧客と交渉を続けていますが、運送業界の経営環境も厳しく、その進捗は充分とは言えない状況です。
- ③また、工場運営面では熟練者の高齢化による退職、技能実習生の入替り時期到来等に伴う生産能力の減を、なかなか補いきれない状況が続いています。
- ④また、今後の成長に向けた人材確保にも弊社の最優先課題の一つとして懸命に取り組んでいますが苦戦を続けています。

このような状況下ではありますが、弊社としては更なる成長に向け、従来にも増してユーザーの様々なニーズに対応し、特徴あるボデーづくりを追求していくことにより、これを楽しんでいく所存です。一方では、前述した問題や課題の解決に加え、更なる効率性改善を目指し、これまで以上に各工場間のコミュニケーションを密にして取り組んでいく方針です。また、これらと共に、EA21の環境経営システムを基盤とした、カーボンニュートラルへの取組み等も進めていくことが重要と考えています。

2024年4月21日

山田車体工業株式会社

代表取締役社長 山田 和典

WAA!